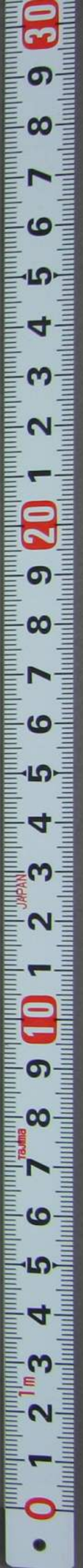


覺見書  
第四十六号

A4442  
829



414  
A 4442



十六号覚書

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

玉本、於テ羊ヲ牧スル事ニ付キ余ハ第四十三  
号覚書ニ記セルシヨーンズ氏カ建言セル  
ノ趣旨ニ管シ嘗テ四月五日附覚書草案  
御大久保利通閣下カ汎言シ給ヘル文理及ヒ要  
旨ヲ余ハ別紙第一号ニ再説セシ所以ハ  
ス六カ右覚書草案ヲ讀ム節其心地ノ如何ナ  
ヤヲ推思ヒシ所ヲ示サシムル爲

紙  
三  
書ヲ斯ク粗

ル西ハ内務卿閣下

贈ヲ給フ前ニ右ノ一除ニ付キ

如何ヲ蕃カニ承知シ給ハ、都合宜シカル可

ト考思シメレハナリ蓋シ内務卿閣下

五日ノ草案ニ記シ給ヘル圖計ヲ未タ完

ト看做ス可カラサル由ヲ余ニ報告シ給

以テ之ヲ觀ル時ハ余カ右様ニ為スハ閣

下好ニ給フ所タル可ク而メ閣下幾クカシヨ

見込ニテ採用シ給フ可キヤ又如何ナレ

ハニ付キテハ余ジョーンズ氏ヲシテ其意ヲ屈

ニ勉ム可キヤ余ニ報知シ給ハ、余能ク  
注意シ政府ノ所願ヲ達スル為メ措ク  
可シ

ジョーンズ氏ハ本月七日即チ昨日日本ニ  
リ謹言

千八百七十五年

四月八日東京ニテ

チャールズ・レゼンドル

参議兼内務卿

八久保利三

十六号覚書ニ添へル別紙第一号

第一條

第四十三号覚書第十條ニシヨリ、  
一千九百一十一年  
至一千九百一十二年  
迄五百弗ノ給料ヲ賜ハリテ内務省ノ一  
等ノ官トスル者ノ記セシハ唯々全ク特別  
律法上ノ差支ヲ除クノ意ニ基クテ  
与給料ヲ與フヘシ同氏カ已レノ附屬  
ニ給金渡セシ費用并ニ同氏ノ旅費ヲ聊カ  
拂ヒ返ス為メニテ決シテ同  
復

然ルニ今

給料

定ムルニアラサルトト云セシ上ノ同氏  
其才国 穴ケル已レカ地位ニ相當セシ給料  
與ヘサレヲ得ス

余々思フ所ニテハ同氏ハ一ケ年六千弗以下ノ  
給料ヲ承諾ス可キ人物ニハアラスシテ是レ  
久保氏ノ草案第一條ニ因レハジョーニス

ナル利得ノ分割ヲ受ケ可シト云ニ案スレ  
同氏ハ其分割ヲ受クルトアリテ其ノ料ヲ  
弗ニ定ム可キノ道理ハ数箇アリテ而メ其

ハ頗ル冗長ナレハ此ニ之ヲ記セスト。虽モ大

ノ好ミアラハ何時タリテ面晤ノ一之ヲ

ヨリ了リ然ル時ハ久保氏多分余ト同意ニ終

フニ疑ナク殊ニジョーニス氏カ給料ヲ増

其他一ニノ箇條ヲ為スニ代ヘテ第二條ニ言

スル如ク同氏カ得可キ利得ノ分割ヲ減ス可キ

ヲ余ヨリ建言セハ久保氏愈々余ト其

同ウシニテ可シ

第二條

料ヲ

頗ル宜シ

氏ハ

法議シテ

コトニ循ヒ牧羊ノ業ノ執行ノ大法ヲイカラシ  
 ク統括シテ許ルニテ得ルニ非レハ右業ヲ万一  
 損失スルノ責ニ任シ之レカ為ノ時間金額名  
 可リ然ルニ第二條ニ就キ以テ之ヲ觀ル時  
 羊ノ業ヲ統括スル者ハジヨーンズ氏ニア  
 業寮察タル可キカ如ク且ツ之ニ管セ  
 子件ニ付キテハ同氏唯々同寮ノ相談人ト  
 致テ統括人ニハアラサルカ如シ加之蓋シ

付ノ意ハ牧羊業ノ利得中ヨリ減ス可キ箇條  
 三審カニ之ヲ言ヘハ全ク度外ニ置ク可キ  
 印キ土地ヲ良好ニ為ス費用、家ヲ建ル費用  
 従テ養フ費用、官吏ノ旅費、官吏ノ給料  
 件々ヲ加ユルカ如シト原ト此等ノ件々ハジ  
 トシズ氏ノ為メニハ毫モ利潤ヲ生セサル者  
 リ而シテ又土地家屋等ノ如キハ契約ノ期  
 リテ之ヲ賣拂フニアラズ悉皆政府ノ所有  
 スキガ故ニ純益高ヲ算斗  
 ノ中ニ之ヲ算入セサル可ク

損算

業ニ回リ廻リ已レカ為メ

シテ買入レテ之ヲ運輸シテモ

畢死ヲ切リ羊仔ヲ産ム季候ニ至リ臨時キ

為ス等ノ如キ当然ノ費用並ニ牧羊ノ可

要ナル労働ノ費用ハ総体ノ利得高中ヨリ之

減スルヲ得可シ

又利得高ヲ定ム可キ法方ニ付テハ

其建言書(即チ四十三号覚書)一紙ノ創

四弗タル可ク牝羊ハ七弗タルヘキヲ記ヤ

言テ政府ニ於テ注意アラシム是レ余カ希望

所ニシテ又利得高ヲ審カニ算計セント為

ハ契約期限ニ至リ各種ノ羊ノ價値計タル

定ムル政府ノ為メ必要アリ余

守業ニ付キ未タ実檢ヲ經シテアラサ

余カ説ヲ述フル能ハスト虽モ本省中ニナ

業ニ付キ政府ニ助言スルヲ得可キ人アラハ

シク此事ヲ考思ス可ク而メ此事ヲ為

事ノ確定スルヲ得可ク止ツ契約ノ期限ニ至

ヲ成就スルニ付キ紛紜ニ起レ

ヲ得可キニハ右様ノ変更ヲ

訓引

刈氏が得可キ利得ノ分割

ヲスルヲ

第三條

此條中ノ各事ハ余カ見ル処ニテハ悉皆  
リト虽モ唯、ジョーンス氏カ本國ノ事務ヲ処置  
スル為メ時々其本國ニ赴ク賜暇ヲ得可  
一事ニ於テハ敢テ満足ト思ハレス蓋シ  
實書ニ記セル所ニ目レハジョーンス氏ニ  
細事ヲ取扱ハシムル為メ自費ニテ四人ヲ  
入レ自カラ之ヲ指揮スル積リナルカ果シテ

此クノ如クタル時ハ同氏カ永ク日本ニ駐留ス  
ル間敢テ爾餘ノ事務ヲ顧ミルノ暇ニ乏シカラ  
ズ可ク又余カ案スル所ニテハ新キル契約ニ  
目リジョーンス氏カ已レノ私用ヲ顧ミ  
宜ニ管セル有様ハ同氏カ最初ノ建言ニ  
期望シタル処ト敢テ異ナラサレバ必要ナリ蓋  
シ今ニ於テハ輸入ス可キ羊數ヲ減シテ一  
頭ト為シ以テ其事業ヲ縮小セシト定ムルニ  
リ余カ説ニテ一人ノ管事ヲ置ケル其事  
充分タル可ク而シテ之レカ為メ一ヶ月百五十弗



ノ手當ヲシヨーンズ氏ニ渡ス時ハ同氏其玉ヲ  
以テカリフラルニアニ於ケル已レカ牧地ヨリ  
其管事ヲ雇入ル可シ但シ余カ此ニ百五十弗ト  
定ムル所以ハ同氏ノ余カ許ニ残シ置キシ覺書  
ニ右様ノ人ヲ雇入ル、ニハ凡ソ右ノ金高ヲ要  
ス可キヲ記シタルハナリ

又第三條ノ最末ノ一項ハ無用ノ語タルヲキカ  
故ニ全ク之ヲ除キ去ルヲ良トス何ントナレハ  
シヨーンズ氏ノ性質ニ回リ同氏カ其職務ニ勉  
勵スルヲ保証シ得可ク加之右ノ義務ハ契約ノ

全文中ニ就キ以テ明カニ之ヲ了解スルヲ得可  
ケレバナリ

#### 第四條

折成ル可キ丈ケ速カニ羊數ヲ増殖セシムルハ  
シヨーンズ氏カ利益タルヲ明カナレハ此條ノ  
最初ノ一項ハ無用ニ屬ス可ク又同氏ハ牧羊ノ  
業ヲ監督スルニ忙シケレハ恐ラクハ時ヲ定メ  
テ生徒ヲ教授スルノ職務ヲ兼諾セサル可シ加  
之同氏ハ教師タルノ經驗アラザレハ右ノ如ク  
生徒ヲ教授シ得可シトハ思ハレズ然レモ持定

セシ若輩数名ノ其牧羊場ニ來テ牧羊總体ノ事  
業ニ習ヒ是ニ草類ヲ植附ケ及ヒ其他牧羊ノ為  
メ必要ナル品物ヲ生スル為メ土地ニ植附ケ  
為ス事業ニ習フハ同氏ノ為メ必ス大ニ愉快  
タル可ク此等ノ事業ニ付テハ同氏欣然トシテ  
其暇ノアル丈ケハ精々尽カシテ教授及ヒ助言  
為ス可シ目テ此事ハ契約中ニ之ヲ記スルモ  
敢テ差支ナシ

### 第五條

此條ノ意ハ最初直チニ千五百エークルノ地ヲ

擇ミ十八ヶ月間ニ之ヲ開墾シ得可レト為スニ  
アニハ此一條全ク差支ナシ

### 第六條

昔シ日本ニ於テ果シテ善ク羊ヲ牧蓄スルコトヲ  
得ハ七千五百エークルヨリ更ニ廣大ノ土地ヲ  
要ス可シ然リト雖モ現時必要ナル土地ノ坪數  
ハ羊ヲ輸入スル時期草類ノ出來方及ヒ其他日  
本ハ全ク新タニ牧羊ノ業ヲ始ムルニ因リ今ヨ  
リ之ヲ先見スル能ハサル種々ノ條件ニ関スル  
カ故ニ方今之ヲ定ムル能ハス

第七條

余案スルニ此條ノ文言ハ凡ソ現時必要ナル品  
物ニ付キ総テジョーンス氏ノ要ムル所ハ其時  
之ニ應諾ス可ント云ヘル意ニ相違ナケレハ同  
氏敢テ此條ノ文言ニ付キ故障ヲ述フルナカ  
ル可シ

第八條

余思ヘラク羊ヲ輸入スル時期及ヒ季候并ニ其  
輸入スル羊ノ種類ニ付キジョーンス氏カ申立  
テシ説ヲ採用シテ之ヲ執行ハ、同氏敢テ此條

ニ付キ故障ヲ述フルナカレシ但シジョー  
ンス氏カ余カ許ニ殘シ置キタル覺書ニ就キ以  
テ之ヲ觀ル時ハ牡羊百頭ト牝羊萬頭トニテハ  
不鈎合ニシテカリフォルニアニ於テ實驗スル  
所ニ目レハ少ク氏牡羊二百頭ヲ要ス可キ趣ナ  
リ

第九條

余案スルニ此條ハ全ク異論ナカル可シ

第十條

余カ第二條ニ記セシ論説ニ從ヒ算計書ヲ設ケ

置ク時ハジョーンス氏敢テ此條ニ異論ナカル  
可シ

第十一條

余ハ別段此條ヲ更改ス可キノ要ヲ見ス

第十二條

余カ思フ所ニテハ此條ハ總テ牧羊場事務取扱  
トノ事ニ付キ第十一條ト齟齬矛盾スルカ如シ  
蓋シ最初土地ヲ擇定シタル上ハ其墾闢羊ノ牧  
蓄及ヒ之ニ管セシ各事ハ余カ考ヘニテハジョ  
ーンス氏獨リ之ヲ專管ス可ク若シ然ラサレハ

相談人ト為シテ同氏ヲ使用スルノ外別ニ同氏  
ヲ使用スルノ要ナク然レニ同氏ク原ト日本ニ  
来リシ時ノ目的ハ唯僅カニ相談人ノ用ヲ為ス  
ルニニアラス備又牧地ニ用フニ官吏ノ負數ノ  
如キハ余思ヘラク此度ノ舉ノ成否ニ直チニ関  
係スル所タレハジョーンス氏其契約ニ記名ス  
ル前ニ會議シテ篤ト此事ヲ決定スルヲ欲スル  
ナレ可シ而ノ又ジョーンス氏ハ其質極メテ丁  
寧親切ノ人タレハ同氏ト牧地ニ在ル政府代理  
ノ官吏トノ間ニ不和葛藤ノ生ス可キ恐レアル

ナリ

第十三條

第十三條ニ付テハ牧畜ニ須要ナク草ヲ生セシムルニ現ニ十八ヶ月ノ時期ヲ要ス可クシテ又此契約ニ記名セシ期日ヨリ羊ヲ蓄フニ適當ナク様土地ヲ用意スル迄ニハ少ク凡ニケ年ノ時期ヲ要ス可ク又日本ノ風土ニ適セシ羊ヲ生セシムルニ為メ各種ノ羊ヲ孳尾セシムルニ更ニ三ケ年ノ時期ヲ要スルニ是レ余カジョーンス氏ヨリ承知セシ所ナリ蓋シ一ノ功績ヲ得ルニ付

キ斯ク多年ノ時日ヲ要スルニ因リ之レカ為メ或ハ損失ヲ生ス可キノ恐レ頗ル多ク而メ其損失ハ第四十三号覚書ニ記セル建言ニ據ルハ特ニ同氏ノ身ニ掛ル可キカ故ニ同氏頗ル之ヲ慮スル様子ナリ故ニ余ハ此條中ニ定ムルニ三ケ年ノ期ヲ延ハシテ五ケ年ト為ス可キト思フ所ナリ

